

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和6年6月25日 第18号（5年生自然教室特別号）



## 5年生が自然教室に行ってきました。

6月21日(金)、22日(土)、5年生は四日市市少年自然の家へ1泊2日の自然教室に行ってきました。天候が心配されましたが、1日目、21日(金)の午前中に雨が降られただけで、その後は天候が回復し、無事に晴天のメニューで、1泊2日の日程を終えることができました。1日目は、入所式 → 木こり体験(雨天メニュー) → カヤック体験 → 野外炊事(炊事場:夕食・片付け) → キャンプファイヤー、2日目は、朝のつどい → ウォークラリー → 退所式・解散式の順で活動を行いました。今回はその活動の一部を紹介します。



### 【1日目】<入所式>

(裏面に続きます)

最初雨天だったので、水沢地区市民センターから少年自然の家口までは路線バスに乗り、その後徒歩で約1.5kmを歩いて四日市市少年自然の家へと向かいました。体育館下のピロティに到着すると、最初につどい係の進行で入所式を行い、その後集合写真を撮りました。入所式では本校の校歌を歌い、その後、四日市市少年自然の家の職員の方からのお話、校長からの話、5年生代表からのあいさつがありました。



四日市市少年自然の家では、「挑戦する心」「感動する心」「発見する心」の3つが、活動するためのキーワードとなっています。私からは、「この3つの心を意識して今回の活動が行えるように」ということと「時間を守る」「人(相手)の話聞く」ことを大切にしよう子どもたちに話しました。職員の方からは、「自分のことは自分でします」「友だちに迷惑をかけません」「次に使う友だちのことを考えます」といった利用の約束が話されました。



### <木こり体験(1番目:雨天メニュー)>

雨天メニューで、里山保全活動が木こり体験となりました。まず、四日市市少年自然の家の職員の方から、室内で里山保全活動についての説明がありました。その後ピロティに移動し、職員の方からの指示で、一人ひとりが腰にのこぎりをつけました。これまでの里山保全活動で伐(き)り出してあった丸太を、50cmほどの長さに小さくしていきます。のこぎりを両手で持ち、丸太を足で支えて切っていきます。のこぎりを引くときに力を入れ、まっすぐにのこぎりを引くのがコツです。班員で交代をして、順番にのこぎりを引いていました。その後、「しよこ」という丸太を背負う道具に、自分たちが木こり体験で切った7から10本ほどの丸太をバランスよくのせ、ひもでしばり、背負って歩いてみました。なかなかバランスがうまく取れず、歩いているときによろけてしまっている子もいました。この日切りそろえた丸太は、今後、他校の子どもたちが使うため、指定の格納場所へと納められました。



### <カヤック体験(2番目)>

午後からはカヤック体験をしました。濡れてもいいように服装を準備して、大門池広場へと向かいました。大門池広場では、まず職員の方からライフジャケットの身につけ方、パドルの使い方を教えてもらい、自分の身体に合うライフジャケットを身につけました。その後、指導員の方から乗船時の注意を聞き、2人1組でカヤックに乗り込みました。指導員の方からは、右に曲がったり、左に曲がったりする方法や、後ろ漕ぎ、ストップする方法などについても教えてもらいました。自由時間には、「右、左」と声をかけてパドルを上手に操作し、どんどん前に進んでいるペアもありました。楽しそうにカヤックを乗り進めていました。最後には、赤、青、黄、緑色4つのうきにカヤックを漕いでタッチする競争をしました。天候も良く、みんな楽しそうにカヤック体験の時間を過ごしていました。



### <野外炊事(3番目)>

カヤック体験の後は、野外炊事を行いました。火を起こしたかまどに、なべ(ニンジン、たまねぎ、じゃがいも、豚肉を切って、水を入れました)、飯ごう(お米を水で研いで入れました)を置きました。なべと飯ごうには液体クレンザーを使って、横と底をべったりコーティングをし、すす汚れを防ぐ対策をしました。ごはんもカレーも一度家庭科

の時間を使って練習をしていたためか、ごはんが焦げていたり、カレーがスープになったりということもなく、上手に炊けていました。できあがった班からそろって「いただきます」をして、おいしくいただきました。

飯ごう炊飯の終盤から、引率者以外の教職員の方々がたくさんかけつけてくれて、かまどの処理やカレーの残りを味見していただきました。「おいしい、おいしい」と評価をしてもらい、子どもたちは満足げな様子でした。

夕食が終わると、使ったなべのすずをとって洗い、返すときに四日市市少年自然の家の職員の方に点検してもらいました。しっかりと磨かないと合格がもらえません。合格をもらったグループは「やったあ」と喜びを分かち合っていました。やり直しのグループは、どこがダメなのかを教えてもらって、磨き直して再度点検してもらっていました。

### <キャンプファイヤー（4番目）>

飯ごう炊飯後、夜7時頃から大門池広場でキャンプファイヤーを行いました。最初にセレモニアルファイヤー（オープニングファイヤー）を行いました。「遠き山に日は落ちて」を歌った後、火の使いが入場し、営火長（校長）に火を移し、営火長から4人の点火係に分火しました。点火係がそれぞれ誓いの言葉を言った後、全員がその言葉を復唱していました。営火長と点火係4人が、キャンプファイヤー場中心に設営されている薪に点火をし、キャンプファイヤーが始まりました。火を囲んで、係の子たちが「古今東西」「動物園に行こうよ」「とんだとんだ」「木とりす」ゲーム、「ジェンカ」「マイムマイム」をみんなで踊ること、などを進行してくれ、楽しませてくれました。最後には、「セレモニアルファイヤー（クロージングファイヤー）の中で、みんなで「今日の日はさようなら」を歌って、キャンプファイヤーを終えました。天候が心配されましたが、無事屋外でキャンプファイヤーを行うことができよかったです。



### 【2日目】

### <ウォークラリー（5番目）>

「ふれあいの森」を使って、ウォークラリーを行いました。展望台や炊事場、大門池など8つの場所でチェックポイントを設け、それぞれ担当の先生からミッションが与えられることになっていました。



大門池では私がミッションを与えていたのですが、記念撮影をした後、「班で考えて面白いポーズをとってください。全員でもいいし、それぞれがポーズをとってもいいですよ。制限時間は2分間です」と言ったら、協力して写真にあるようなポーズをしてくれる班もありました。子どもたちの発想は、本当に無限で夢がありますね。私の持ち点は50点満点だったのですが、思わず80点をあげてしまいました。どの班も大きなトラブルがなく、班員と別れて行動することもなく、多くのチェックポイントをしっかりと回れたようです。ウォークラリーの勝敗結果は、改めて学校に戻ってから、担任の先生から発表される予定です（もうすでに発表されたかな）。

### <退所式・解散式>

退所式では、四日市市少年自然の家の職員の方からのお話、校長からの話、5年生代表からのあいさつがあり、2日間の活動の振り返りをしました。退所式では、ある子が「あまり話したことがなかった子と話をし、違ったいい面を知ることがよかった」「一人にいる子に話しかけていく子がいてよかった」とも話していました。



職員の方からは、「子どもたちがしっかりと大きな声であいさつをしてくれたのがよかった。これからも続けてほしい」というお褒めの言葉をもらいました。その反面、私が2日間を見て、「時間を守ること」「相手の顔を見て話を聞くこと」について、少し課題が残ったように思います。子どもたちも夜の振り返りで話していて、わかってはいるようです。来年秋に実施する6年生での修学旅行に向け、よい所は伸ばし、悪い所は改善していきましょう。

2日目のウォークラリーは、本校教員の全員が協力してチェックポイントに立ち、ミッションを与えていました。また、前日の飯ごう炊飯、キャンプファイヤーもほとんどの教職員が参加して、ボンファイヤー（ゲーム、ダンス、歌など、とにかく楽しむ）等に参加をし、子どもたちとのふれあい、語り合いを深めていました。子どもたち同士だけでなく、子どもと教職員との心の距離も大きく縮めることができた有意義な時間とすることができました。

この1泊2日の自然教室を通し、5年生は、自然教室で大切な「挑戦する心」「感動する心」「発見する心」の3つに加え、『なかまを大切に作る心』を体現することができたのではないのでしょうか。今までなかなかわからなかった学級のなかまのよいところを知り、お互いの絆を深めることにつながる充実した2日間とすることができました。そして、5年生の子どもたちと教職員との心の距離を縮める内容の濃い時間とすることができました。

保護者の皆様には、子どもたちの送迎で大変お世話になりました。職員一同感謝いたしております。自然教室開催にあたり、ご理解、ご協力、誠にありがとうございました。

（文責 北住 昌文）